

枚方市議会議員 改革系無所属

駅前配布版 第89号(通算116号)
平成27年1月発行

かじや知宏 議員報告



<生年月日>昭和43年9月12日 <年齢>46歳 <出身地>大阪府枚方市 <趣味>読書、スポーツ観戦、神社仏閣巡り <血液型>O型
<経歴>阪保育所→殿山第二小→枚方三中→牧野高→龍谷大→報知新聞社(11年)→枚方市広報課(3年3ヶ月)→行政書士

<市役所>〒573-8666 枚方市大垣内町2-1-20 電話072-841-1221代

<自宅>〒573-0171 枚方市北山1-23-57 電話090-3705-9393

Eメール tomohiro@t-kajiya.com

かじや知宏のホームページ
<http://www.t-kajiya.com>

浸水対策について 雨水貯留施設の整備や雨水流出抑制施設設置義務化などを提案



枚方市議会では、今期から議会従来の評価・監視機能に加え政策立案機能を果たすため、常任委員会ごとに市政の各分野における課題の解決に向け、市に対して具体的な政策や施策の提案に取り組んでいます。私の所属する建設常任委員会では、今年度「浸水対策について」をテーマに取り上げ、調査に取り組んできましたが、この度、最終報告書がまとまりました。

テーマの選定に当たっては、近年の局地的な集中豪雨や大型台風の影響を受けた大雨による浸水被害などの大規模な自然災害への対応が全国的に大きな課題となっていること、また枚方市でも20、24、25年に大規模な浸水被害が発生したことを踏まえて決定しました。委員間での討議を経て、一致した意見については「浸水被害軽減に向けたハード面の取り組みについて」「浸水被害軽減に向けたソフト施策について」の2つの論点で提言をまとめました。ハード面については既存の施設への雨水貯留施設の整備など、ソフト面については民間事業者の一定規模以上の開発行為に対して雨水流出抑制施設の設置を義務付ける条例等の基準作りについてなどの施策提案をしています。また、厳しい財政事情ですが、市民の安心・安全を確保するという観点から、最大の予算確保などに努め、充実した浸水対策を進めるよう市に求めています。

議員それぞれの考えがある中、議論を重ね、政策提言というひとつの形にまとめていくことは、議会の責任と役割を果たす上で非常に有意義なことだと感じました。また、今回の提言の内容が市の施策に生かされるよう、今後も二代表制の一翼を担う市議会の一員として、引き続きチェック・提言を行っていきます。今回の最終報告書については、枚方市議会のホームページまたは「かじや知宏のホームページ」にアップしています。

※枚方市議会ホームページ→ <http://www.city.hirakata.osaka.jp/site/sub-giji/>

<裏面もご覧ください>

税金の流れの透明化 ムダの排除 既得権の見直し

市民の手に税金と政治を取り戻します!!

活動の詳細はホームページをご覧ください

かじや知宏

で 検索



ブログのQRコード



tomohiro.kajiya



@kajiya_tomohiro

※フェイスブックとツイッターのアカウントを開設しています。

駅前報告を行っています

～530回継続中～

一人でも多くの市民の方に市政情報をお伝えしたいという想いから、午前6時20分頃～8時30分頃に駅前「議員報告」の配布を行っています。

人口減少社会に対応した新たな政治・行政の仕組みをつくっていきます

あしたの枚方のために **新しい政治への挑戦**

私の市議会議員の任期もあと4か月を切りました。選挙も近づき、何かと周りが騒がしくなってきましたが、市政の課題が山積する中、売名行為や顔つなぎだけの挨拶活動（選挙の事前活動）に気を取られることなく、精一杯、議員本来の職務を全うしていきます。

少子高齢化による税収の減少や社会保障費の増加に対応するため、枚方市でも人口減少社会に応じた効率的なまちづくりへの転換をどのように図っていくのかが、大きな課題です。枚方市も30年後には、人口が2割減少し、高齢者の割合が36%になります。また、年々増え続ける枚方市の赤字地方債は昨年度末で500億円を突破、今後も増加し続け、7年後には700億円を超える見通しです。もちろん国全体の借金は、1000兆円を超える状況は皆さんもご存知の通りです。

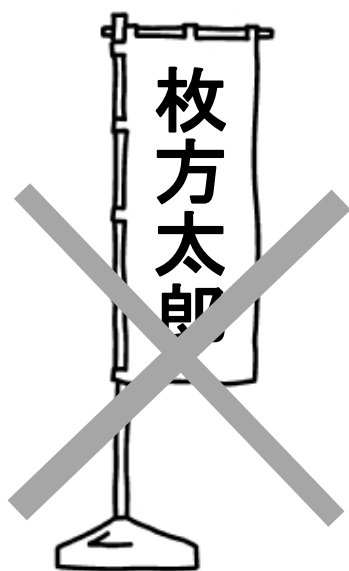
このような厳しい状況の中、子どもたちも含めたすべての世代に、明るい未来への展望を示し、そのための方策を提案するのが政治の役割ではないかと考えます。今後、枚方市が「持続的発展が可能な自治体」になるためには、高度経済成長時

代の右肩上がり为前提とした政治・行政の仕組みから、人口減少社会に対応した新たな仕組みへの転換が必要です。定住促進・人口誘導による税収の確保はもちろん、これまでの行政の役割を見直すことや、施策の「選択と集中」を進めて行けるかが大きなカギとなってきます。

今年も市議会議員として皆さまのご期待にお応えできるよう、人口減少社会に対応した新しい政治・行政の仕組みを提案していくとともに、限られた税金がよりよい行政サービスの充実に使われるよう、しっかりとチェックを行っていきます。また、税金の流れの透明化をはじめ、ムダの排除、人件費を含むすべての既得権の見直しを進め、市民が真に豊かさを実感できる枚方市の実現に向け、精一杯頑張っていきます。

特に今年は、議員報告チラシを中心とした情報発信に力を入れていく考えです。多くの皆さまと市政の課題や今後のビジョンを共有できるよう、私の想いや活動についてしっかりと発信していきます。ぜひ、皆さまからのご意見・ご提言・ご感想をお待ちしています。

名前入りのタスキ・ノボりは「ダメよ～ダメダメ」



市民の方から「鍛冶谷さんも駅前で活動する時に、名前を大きく書いたノボリやタスキをした方がええで。その方が多くの人に名前を覚えてもらえるし。他の議員もやってるがな」とのご意見をよく頂きます。

そこで市の選挙管理委員会に確認をしたところ、「タスキ」や「ノボリ」に本人の氏名を大きく書いて、駅前や街頭で使用する行為は公職選挙法第143条に違反する疑いが、非常に高いとの答えでした。本人の氏名入りの「タスキ」を使用できるのは、原則選挙期間中（告示から投票日前日まで）だけで「ノボリ」については、選挙期間中においても制限があるとのことです。

アドバイスをくださった皆さまには、たいへん申し訳ございませんが、そのような理由で、氏名を大きく書いた「タスキ」や「ノボリ」を議員報告活動で使用することは控えさせていただきます。何卒ご理解のほど、よろしく願いいたします。